

2020年9月 イーアイデム会員対象 アンケート結果

TOPICS

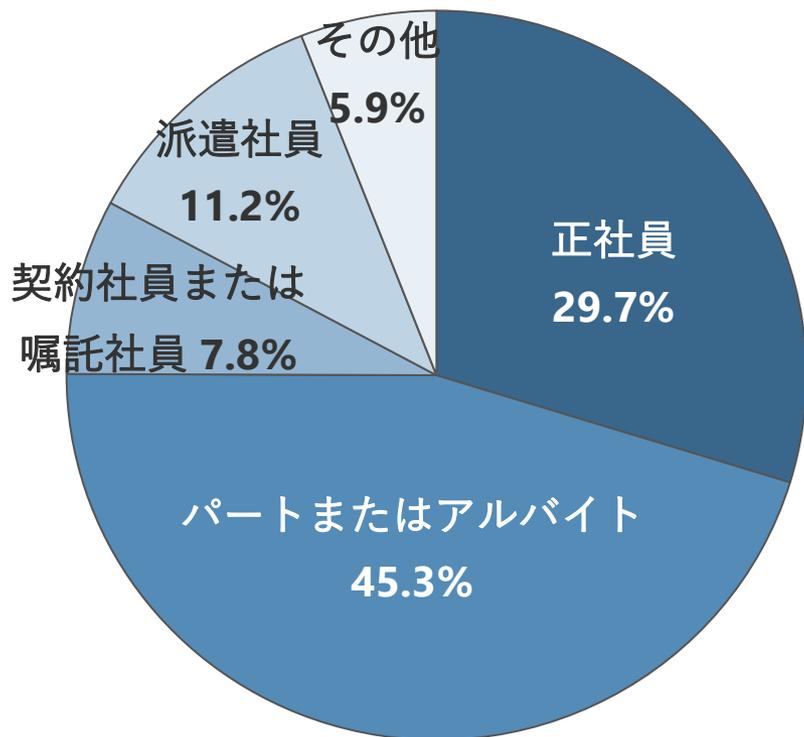
Web面接・オンライン面接に何らかの不安がある人の割合は87.9%

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

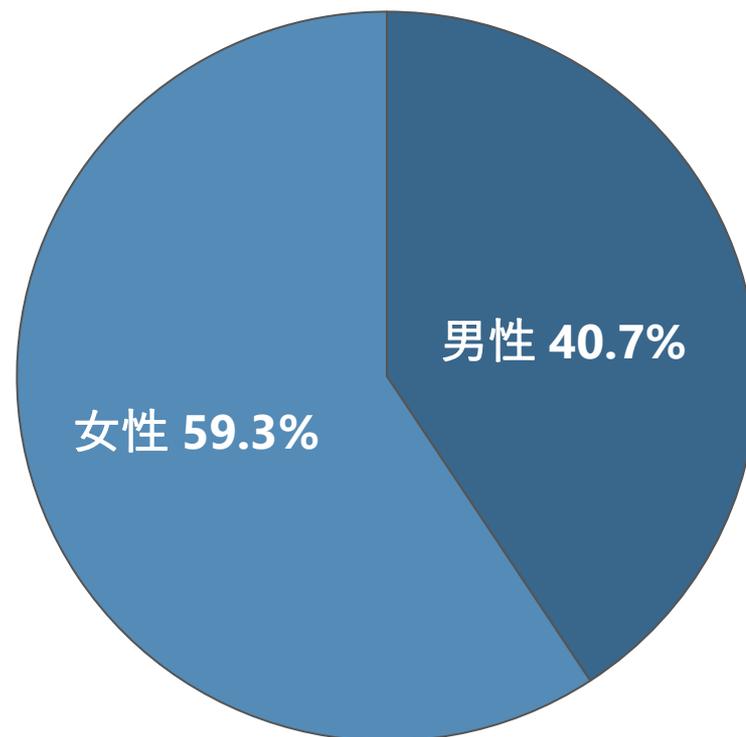
- 調査名
 - ▶ 【イーアイデム会員限定】 お仕事探しに関するアンケート
- 調査目的
 - ▶ 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる
- 調査対象
 - ▶ 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2020/09/01～09/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人
- 調査期間
 - ▶ 2020/09/02～2020/10/06(35日間)
- 調査方法
 - ▶ インターネットリサーチ
(株式会社マクロミル「クエスタント」を使用)
- 有効回答数
 - ▶ 437件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別



イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

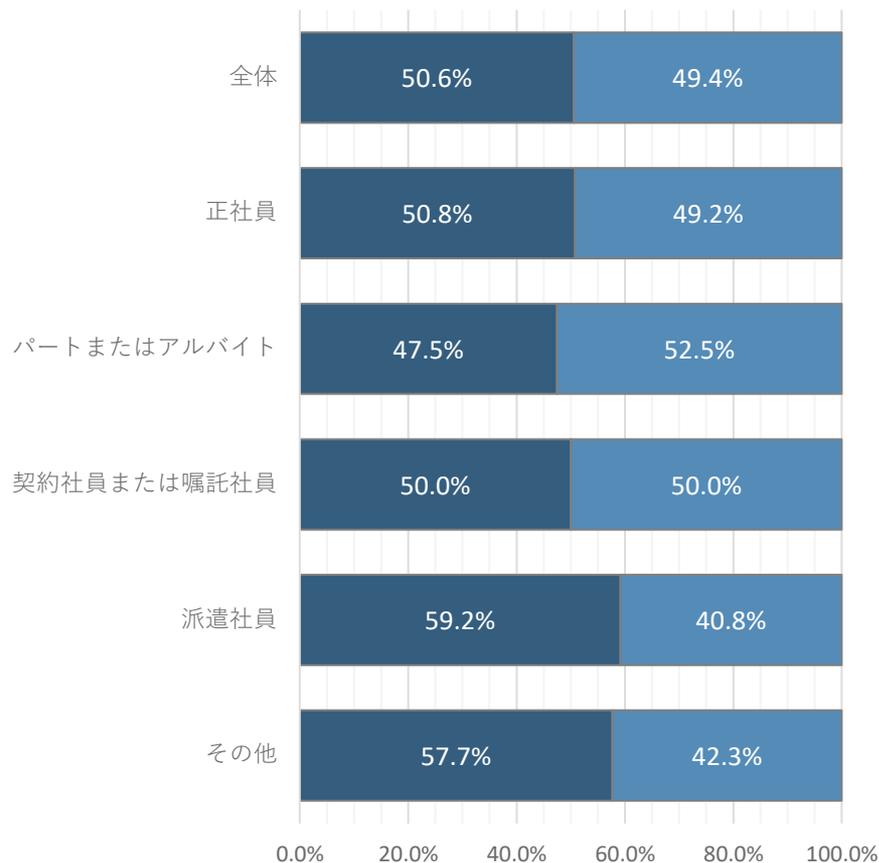
全体で50.6%が「はい」と回答し、半数の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。4月調査時と比較すると、61.8%から11.2pt減少している。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「派遣社員」「その他」では6割弱が「はい」と回答し、全体の数値より高くなった。

「その他」を選んだ人のほとんどは、「雇用形態は特にこだわらない」と回答していた。勤務条件や働く環境・賃金額で希望と合致すれば良いと考える人が一定数いるようだ。

今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

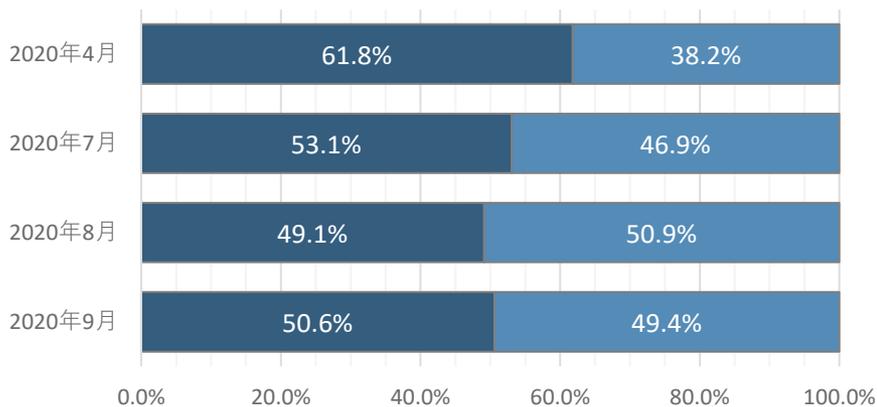
■ はい ■ いいえ



参考

新型コロナウイルス感染症の影響割合の変化

■ はい ■ いいえ

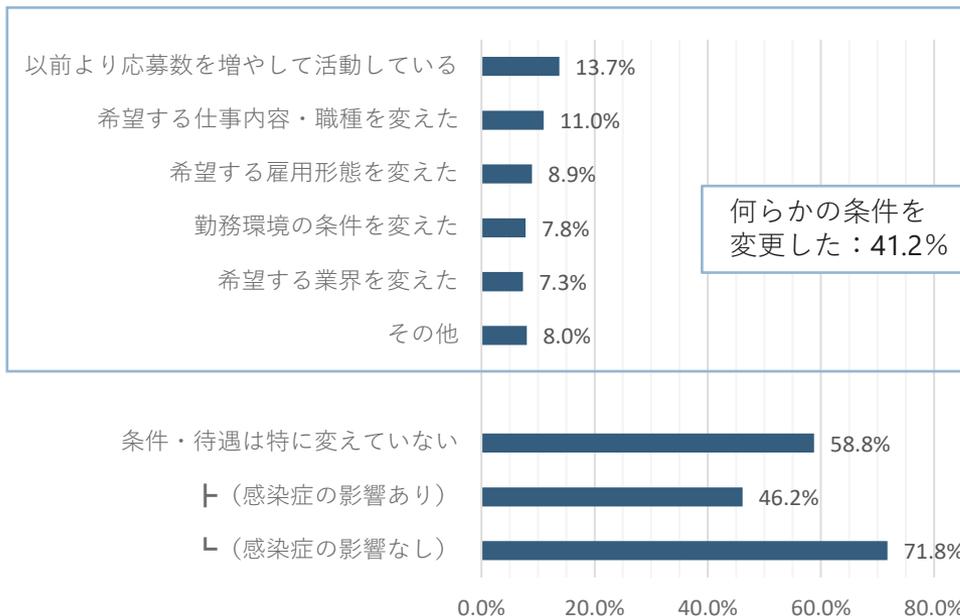


イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかきいた。全体では「何らかの条件を変更した」41.2%、「条件・待遇は特に変えていない」58.8%と、コロナ禍において仕事探しの軸を変えない人が6割となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「以前より応募数を増やして活動している」で13.7%、次いで「希望する仕事内容・職種を変えた」が11.0%となった。様々な点から日常生活が変わり、労働環境や待遇を見直す人が増えた印象がある。また、副業やダブルワークとしての仕事を探している人では、現在の会社に籍を置きながら勤務可能な条件で絞り込んでいるようだ。

また、「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人となし人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が46.2%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（71.8%）より25pt以上低くなっており、何らかの条件を変更した割合が大きい。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



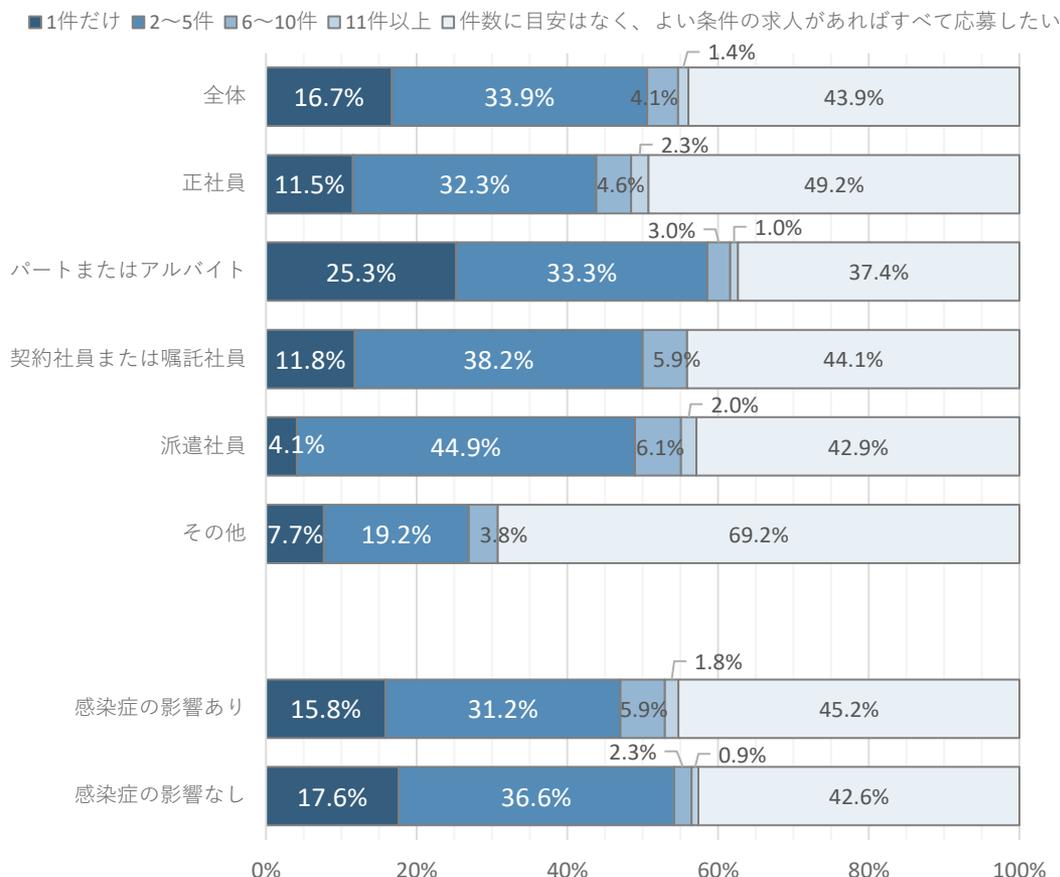
希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
契約社員または嘱託社員	女性	40代	アルバイトや契約社員でも、保障や昇給など考慮された職場が良いと考えようになった。
正社員	女性	40代	テレワーク導入が否か、またその頻度を確認している（通勤時間を他の事に使える良さを知ってしまったので）
正社員	男性	40代	経済活動の停滞による求人数の減少。それに対して解雇等による求職者数が上昇した結果、有効求人倍率低下の懸念から応募数を増やしている。
その他（特にこだわらない等）	男性	40代	住宅ローンがあるため金額的に深夜勤務で時給月給がよい条件にした。
パートまたはアルバイト	女性	30代	全く見つからないため、業種問わず、しかたなく労働時間の条件が合いそうなら手当たり次第応募している。
パートまたはアルバイト	女性	30代	正社員で働いているが減給になり副業が許可されたため、仕事を探している。
パートまたはアルバイト	男性	40代	Wワークを考えてます。現在観光バス運転士をしており、コロナの影響で業務量が激減し、現在の会社に籍を置きつつ、出来る仕事を探しています。

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く43.9%、次いで「2～5件」が33.9%、「1件だけ」が16.7%、「6～10件」が4.1%、「11件以上」が1.4%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動しているといえる。

希望雇用形態別にみると、「派遣社員」を除き目安を設けていない割合が最多となった。一方で、「パートまたはアルバイト」では1件だけの応募にとどまると回答が4人に1人となった。

今回仕事探しにおける理由に新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」と回答した人は「感染症影響なし」と回答した人よりも6件以上の応募を検討する割合が多かった。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

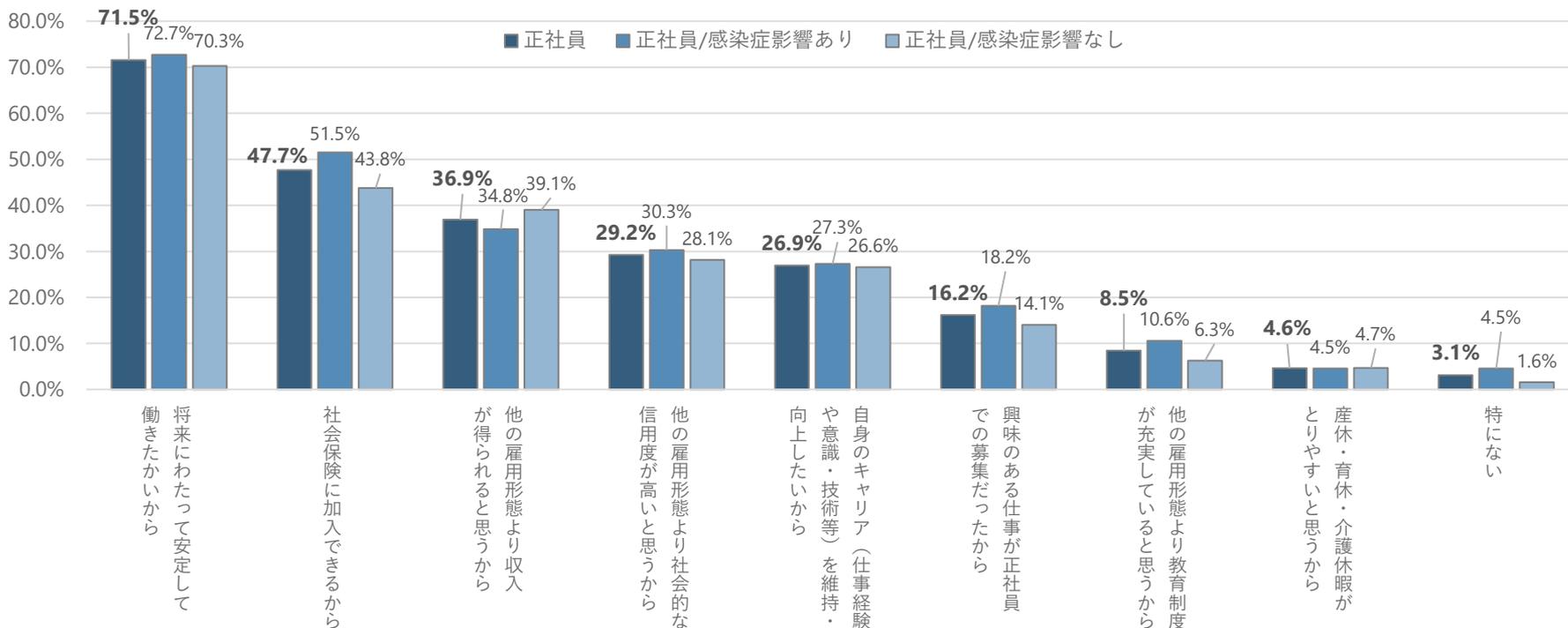


イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で71.5%、次いで「社会保険に加入できるから」が47.7%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が36.9%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「社会保険に加入できるから」を選んだ割合が、「感染症影響なし」の人より7.7pt高かった。新型コロナウイルス感染症の不安から、社会保険の様々なメリットを好意的に受け取っている人が多いようだ。

「将来にわたって安定して働きたいから」「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」「産休・育休・介護休暇がとりやすいと思うから」は、感染症の影響の有無で大きな差は見られなかった。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

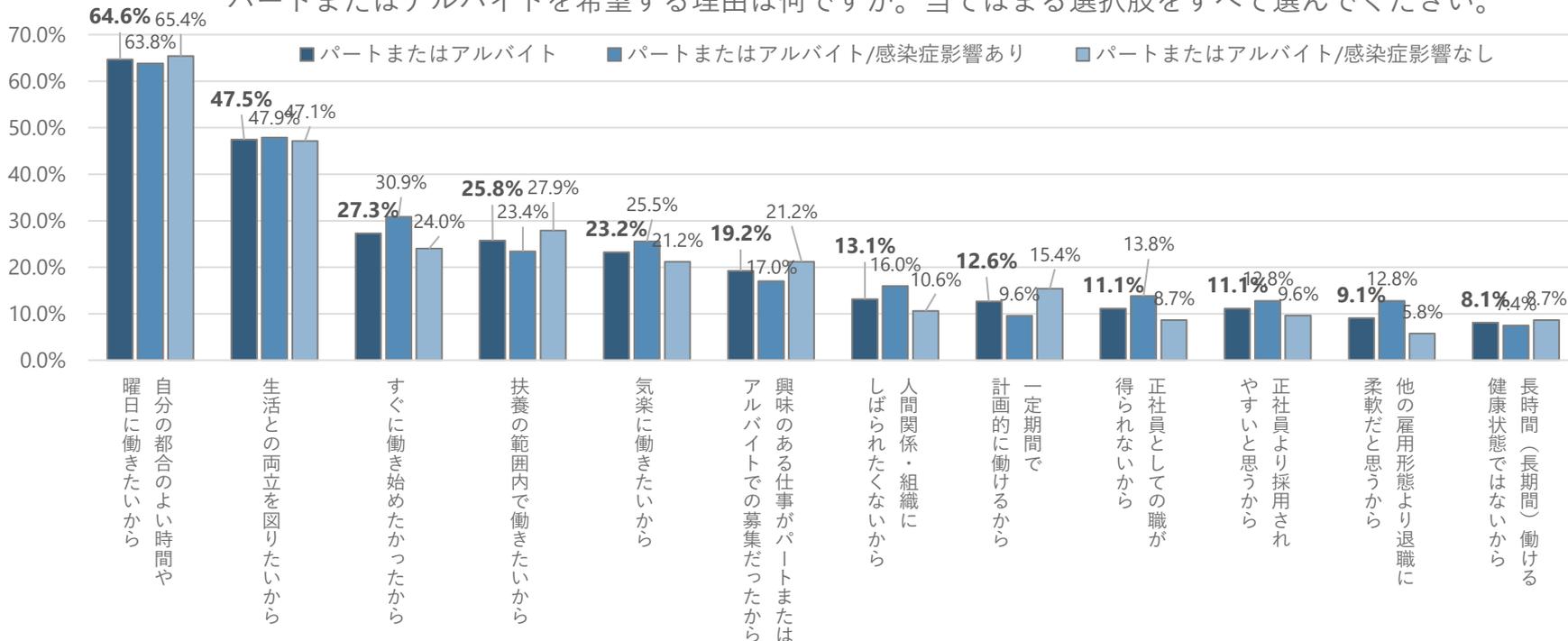


イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で64.6%、次いで「生活との両立を図りたいから」が47.5%、「すぐに働き始めたかったから」が27.3%となった。今の日常生活に合わせた働き方を望んでいる、早急に仕事に就きたいと考える人々が、パートまたはアルバイトという雇用形態を選んでいる傾向がある。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「すぐに働き始めたかったから」が6.9pt高くなっている。新型コロナウイルス感染症の影響から仕事探しをしている人は、取り急ぎ仕事に就きたい状況である場合が多く、より切迫感が強いことがうかがえる。また、「人間関係・組織にしばらく働きたいから」は5.4pt、「正社員としての職が得られないから」は5.1pt高かった。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が4.5pt、「興味のある仕事パートまたはアルバイトでの募集だったから」が4.2pt、「一定期間で計画的に働けるから」が5.8pt高かった。年収や就労期間を考慮した回答が多い傾向だった。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



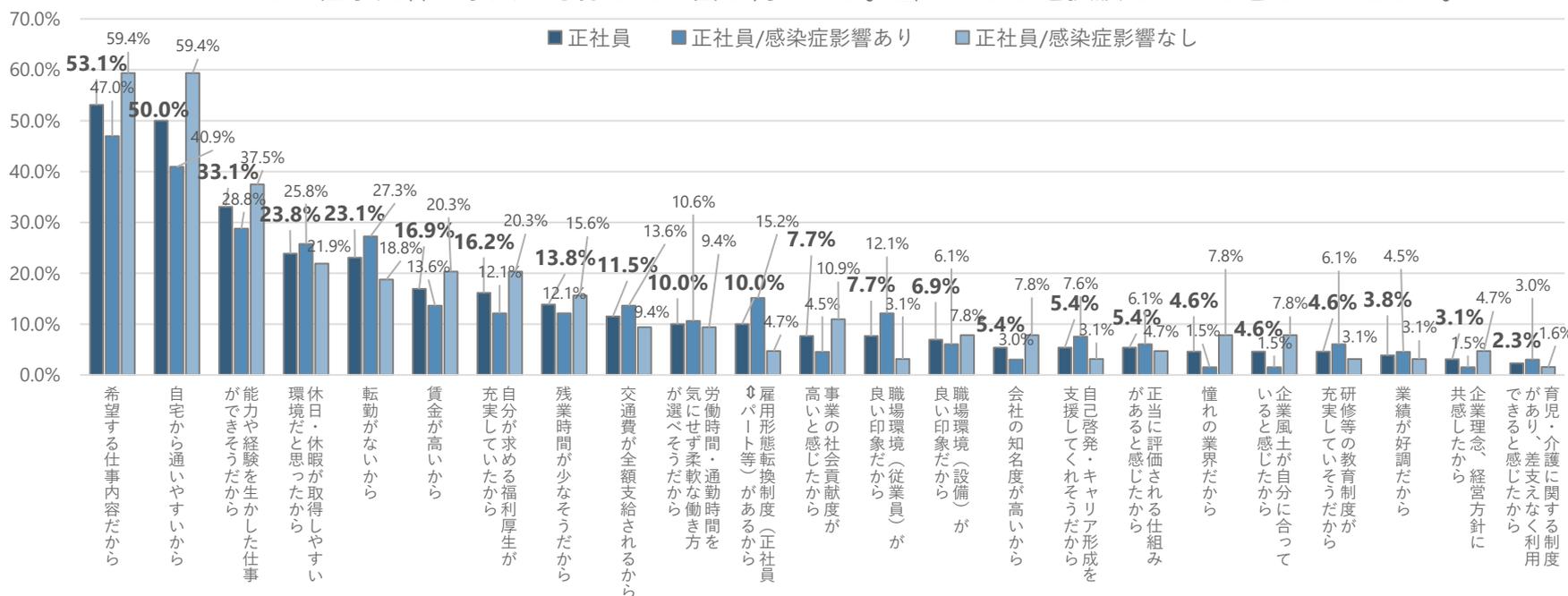
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」で53.1%、次いで「自宅から通いやすいから」が50.0%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が33.1%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「雇用形態転換制度（正社員⇔パート等）があるから」が10.5pt、「職場環境（従業員）が良い印象だから」が9.0pt、「転勤がないから」が8.5pt高かった。雇用形態転換制度については女性が、転勤については男性からの回答が多かった。長く勤められるような条件をより重要と考えているようだ。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「自宅から通いやすいから」が18.5pt、「希望する仕事内容だから」が12.4pt、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が8.7pt、「自分が求める福利厚生が充実していたから」が8.2pt高かった。職務に対する熱意・対応能力のほか、通勤環境や福利厚生が自身に合う仕事を選ぶ人が多かった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



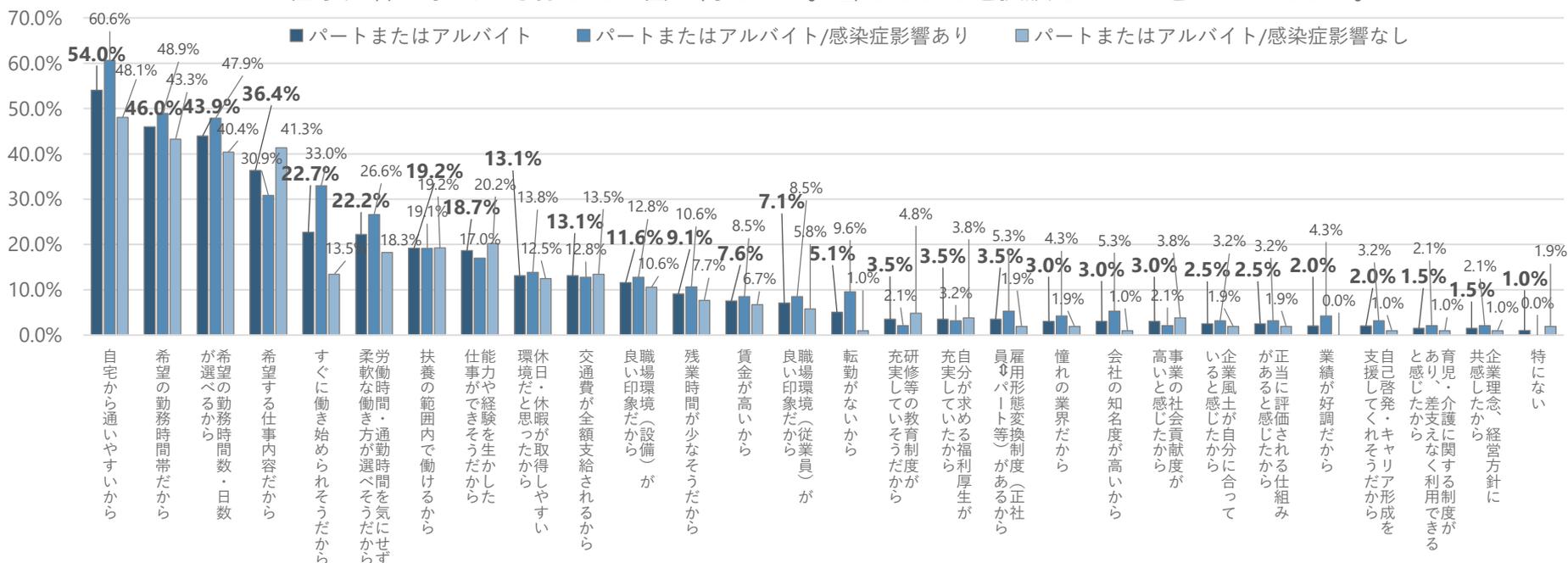
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で54.0%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が46.0%、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が43.9%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「すぐに働き始められそうだから」は19.5pt、「自宅から通いやすいから」は12.5pt高かった。「希望の勤務時間帯だから」「希望の勤務時間数・日数が選べるから」「労働時間・通勤時間を気にせず柔軟な働き方が選べそうだから」「転勤がないから」については5pt以上高くなっており、取り急ぎ近くで都合の良い時間に仕事ができればと考えている人が多いようだ。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「希望する仕事内容だから」が10.4pt高かった。自身のやりたい仕事を優先する人が多いようだ。また、回答個数の平均は「感染症影響あり」の人が4.0個、「感染症影響なし」の人が3.3個だった。パート・アルバイトを希望する人が求人を選ぶ条件は、感染症の影響を受けずに求職活動をしている人の方が少ない。「すぐに働き始められそうだから」が13.5%とあまり高いことからも、「良い仕事があれば」と長い目で見て行動している人が多いようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

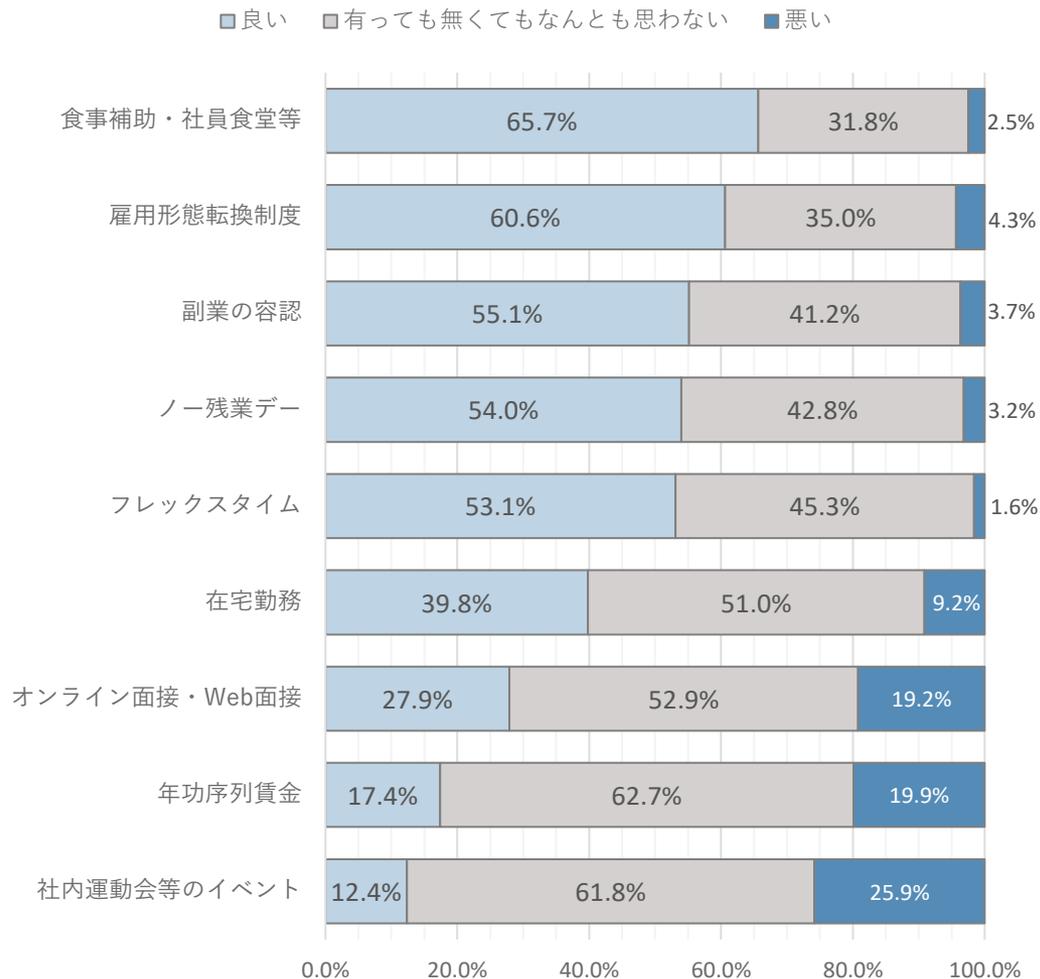


イーアイデムから求人に応募した人に、企業の制度の印象についてきた。企業の制度は、「在宅勤務」「オンライン面接・Web面接」「雇用形態転換制度（正社員⇄パート勤務等）」「年功序列賃金」「副業の容認」「フレックスタイム」「食事補助・社員食堂等」「社内運動会等のイベント」「ノー残業デー」の9つ。印象が「良い」割合が最も高かったのは「食事補助・社員食堂等」で65.7%、次いで「雇用形態転換制度」の60.6%、「副業の容認」の55.1%と続いた。半数以上が「良い」と回答した制度は、「ノー残業デー」「フレックスタイム」を含め5つだった。

印象が「悪い」割合が高かったのは「社内運動会等のイベント」で25.9%、次いで「年功序列賃金」で19.9%、「オンライン面接・Web面接」の19.2%と続いた。「年功序列賃金」と「社内運動会等のイベント」は「良い」と回答した割合が2割以下となっており、「悪い」と回答した割合の方が高くなった。

「在宅勤務」は、「感染症影響あり」（P4参照）の「パートまたはアルバイト」希望、または女性で「良い」と回答する人が多かった。出勤は罹患のリスクととらえていると考えられる。一方で職務上導入ができればなる場合もあり、また自宅に業務が行える環境を整える必要もあるため、一定数「悪い」印象を受ける人もいる。

次の制度がある企業の印象を教えてください。



イーアイデムから求人に応募した人に、Web面接やオンライン面接にどんな不安があるか聞いた（複数回答）。最も多かったのは「オンライン面接のルールやマナーがわからない」で44.2%、次いで「スマホやPCの操作がきちんとできるか」が40.5%、「慣れないので事前準備が必要」が38.9%となった。「何らかの不安がある」割合は87.9%となり、約9割の人にWeb面接・オンライン面接に不安があることがわかった。

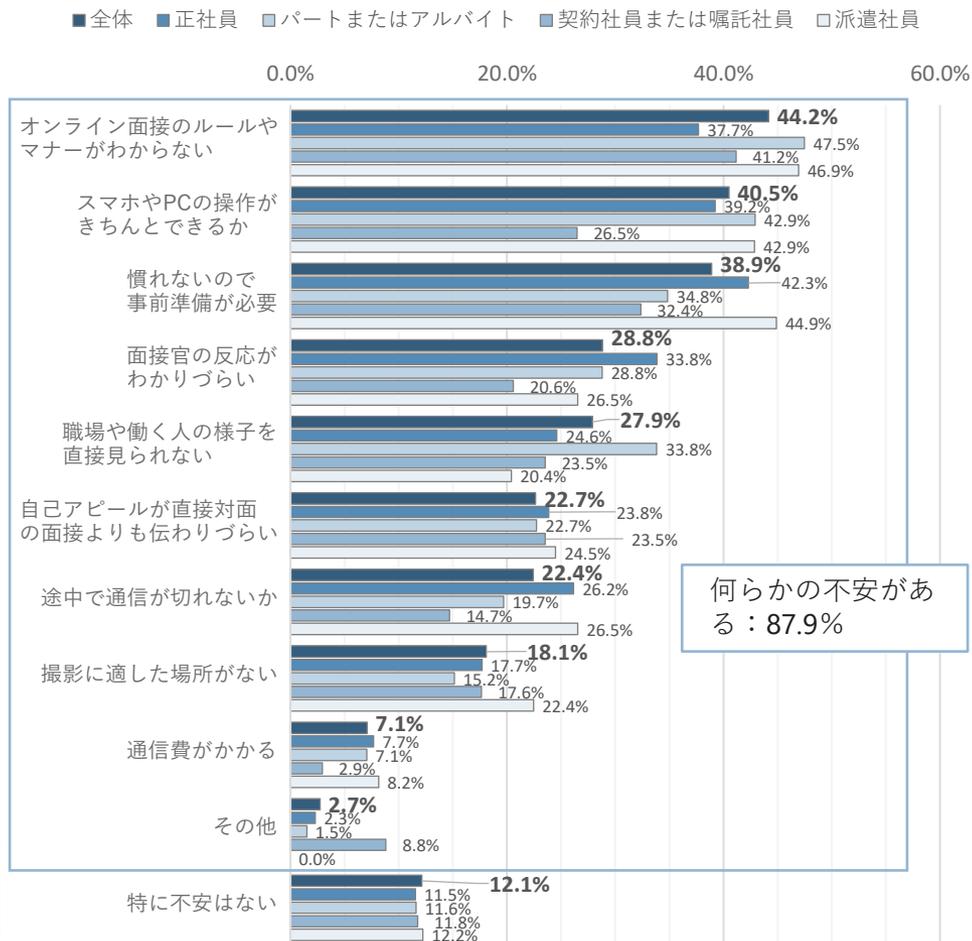
抱える不安の傾向として、面接時の所作や電子機器の扱いといった、直接対面の面接には無い問題が上位に挙がった。自身のアピールや応募企業の情報収集に関する不安は2~3割となった。最近になって広く活用されるようになったツールであることから、「自分のアピールが伝わるかどうか」や「自分に合う会社か確認できるか」よりも、「オンライン面接が不備なくできるか」「どうするのがWeb面接の作法なのか」といった懸念が強いようだ。

希望雇用形態別にみると、正社員では「面接官の反応がわかりづらい」、パートまたはアルバイトでは「職場や働く人の様子を直接見られない」、派遣社員では「慣れないので事前準備が必要」「途中で通信が切れないか」で、他の雇用形態希望よりも不安が多かった。

自由意見には、マスクでの会話が日常になったことからの弊害が回避できる旨の意見があった。ダイバーシティに配慮した採用方法を設け、安心して応募してもらえる環境も求められている。

希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
パートまたはアルバイト	女性	50代	簡単なテストをした時に、画面がスマホだったため、文字が小さく、見えなくて困ったことがある。
パートまたはアルバイト	男性	60代	軽度の難聴のため、マスク+ソーシャルディスタンスの面接は困難。オンラインのほうがむしろありがたい。

応募した企業から、「面接（もしくは面談）はオンラインでお願いします」と言われたら、次のような不安はありますか？（複数回答）



何らかの不安がある：87.9%

イーアイデムから求人に応募した人に、通勤時間の許容範囲をきいた。最も多かったのは「30分～60分未満」の52.9%、次いで「60分～90分未満」の27.9%、「5分～60分未満」の15.6%となった。平均42.1分、中央値が40分となり、約7割が通勤時間は1時間未満でありたいと考えているようだ。

希望雇用形態別にみると、いずれも「30分～60分未満」と回答する割合が最も多かったが、「パートまたはアルバイト」では「5分～30分未満」が24.7%となり、4人に1人の割合で30分未満を望んでいた。「パートまたはアルバイト」では、求人に応募した理由（P10参照）のトップが「自宅から通いやすいから」（54.0%）だったことから、短い通勤時間で通える仕事を求めている割合が、他の雇用形態を希望する人より多いことがわかる。

家を出てから職場につくまで、かかってもよいと思える通勤時間はどのくらいですか？

